

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会 バイオものづくり革命推進ワーキンググループ（第4回） 議事要旨

- 日時：令和6年8月1日（木）10：00～12：00
- 場所：経済産業省別館1115各省庁共用会議室及びオンライン
- 出席者：関座長、糸久委員、片田江委員、佐々木委員、山本委員、吉富委員
- 議題：
 - ・ バイオものづくり革命推進事業第二回公募の結果概要について＜非公開＞
 - ・ バイオものづくり革命推進事業第三回公募に向けた改善について
 - ・ 採択プロジェクトのワーキンググループにおけるモニタリングについて

■ 議事概要：

オブザーバ（本事業における事業採択事務局）であるNEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)より、資料2に基づき説明があり、議論が行われた。＜非公開＞
また、事務局より資料3～4に基づき説明を行い、議論が行われた。資料3～4に関する委員からの主な意見は以下のとおり。

（資料3）

- ①について、これまでの採択では多様な製品出口につながる案件を採択してきているが、業界ごとに時間軸が異なるため、製品出口によっては、必要に応じて政策誘導や意図的なマッチングを実施していく必要があるのではないか。
- ②について、未利用資源活用のためのボトルネックとしては理解。一方で、有用な酵素開発・生産において優位な海外企業と渡り合っていくためには、強みを持っている企業に協力してもらい、総力戦で実施する「しかけ」づくりが必要ではないか。
- ③について、既採択事業と協力する提案を認めるなど、既存の枠組みの中で可能な限り提案技術を使ってもらう仕組みを織り込んでいくことが重要であり、PFについては他の案件とは異なる評価軸が必要。どのように社会に貢献していくのかといった製品出口の観点は盛り込みつつ、他のプロジェクト等のニーズを元に開発スピードを加速化させる等の観点を入れることが必要。
- ④について、事業者で取り組むのはもちろんだが、プロジェクト横断的な連携が出来るように協調領域で支援できる体制構築を検討する必要があるのではないか。

（資料4）

- 企業からは事業戦略ビジョンに基づいてわかりやすく説明をしていただきたい。
- 事務局側で「国内外技術・市場・政策等」の動向を分析することに加えて、企業からも技術・市場動向の自己分析を実施してほしい。

以上

（お問合せ先）

商務・サービスグループ 生物化学産業課

電話：03-3501-8625

FAX：03-3501-0197